

第36回骨軟部放射線研究会

症例検討

症例：5

※個人特定リスク回避のため症例提示施設を記載しておりません

症例5：50歳台 男性

- 病歴：6-7年前から右臀部の皮下腫瘍を自覚。3年前から増大傾向があり、ある診断で前医にて2年前にIVR施行。その後も増大傾向であったため、手術目的に当院紹介受診。
- 既往歴：右足関節部外傷手術のため、右腸骨から骨採取(10歳台)
- 内服歴：なし
- 身体所見：右臀部皮下に腫瘍あり(サイズ記載なし)。発赤、疼痛なし
- 血液生化学検査

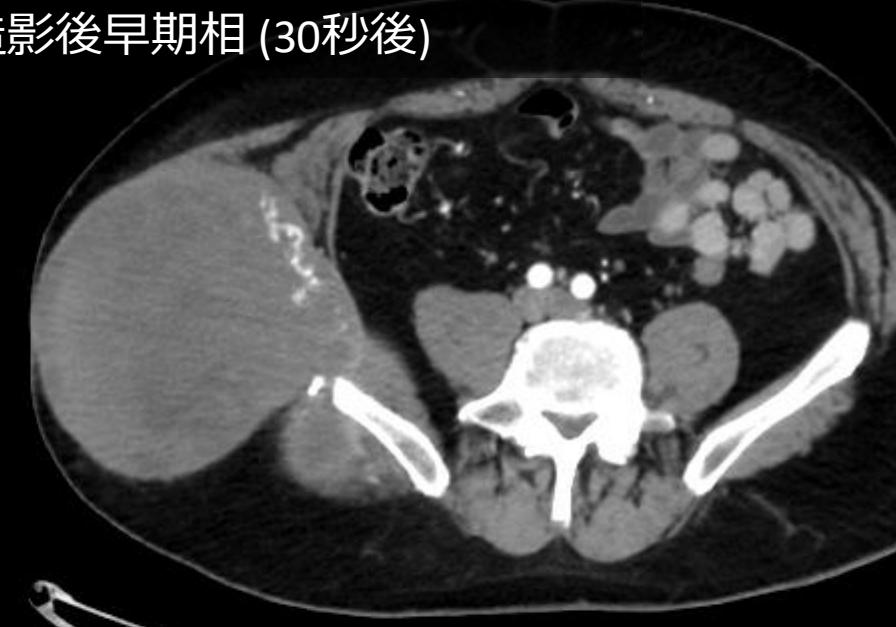
WBC $8.58 \times 10^3/\mu\text{L}$, Hb 13.0 g/dL, PLT 31.4万/ μL

• 造影dynamic CT

単純



造影後早期相 (30秒後)



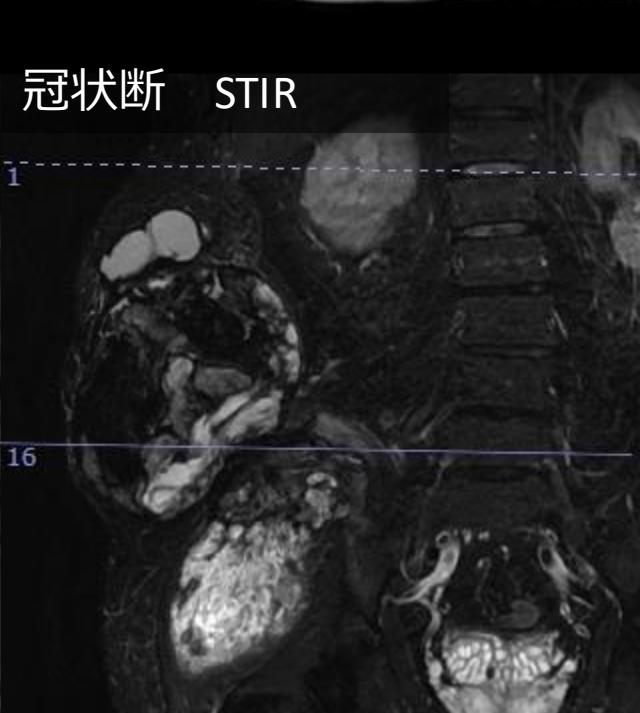
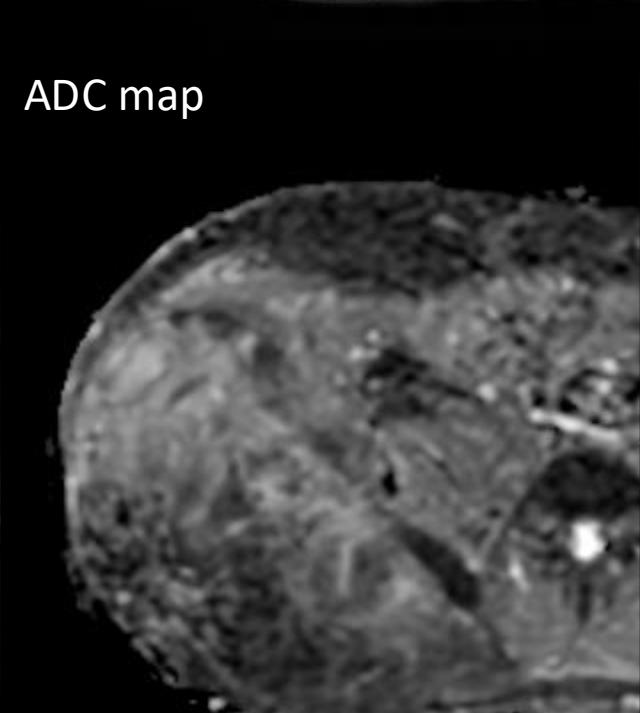
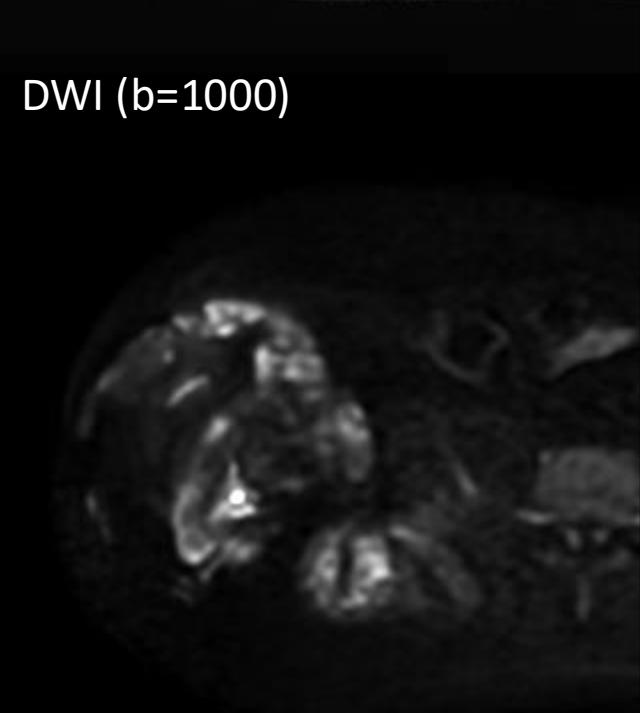
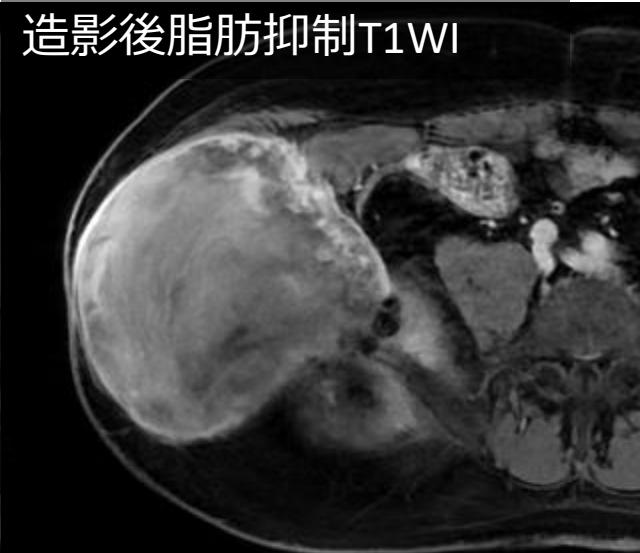
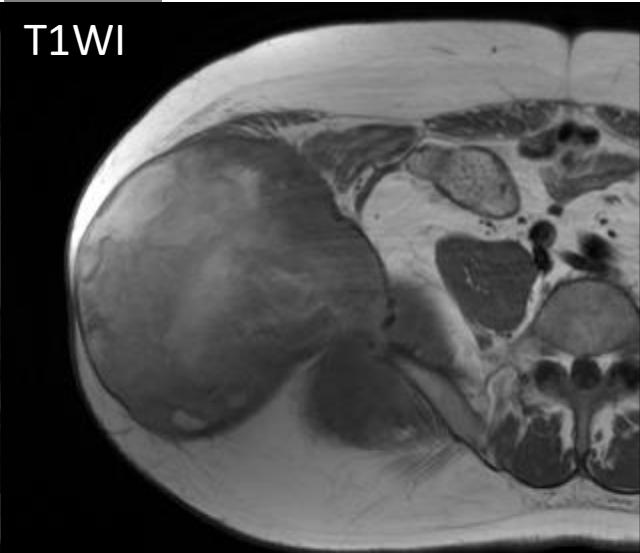
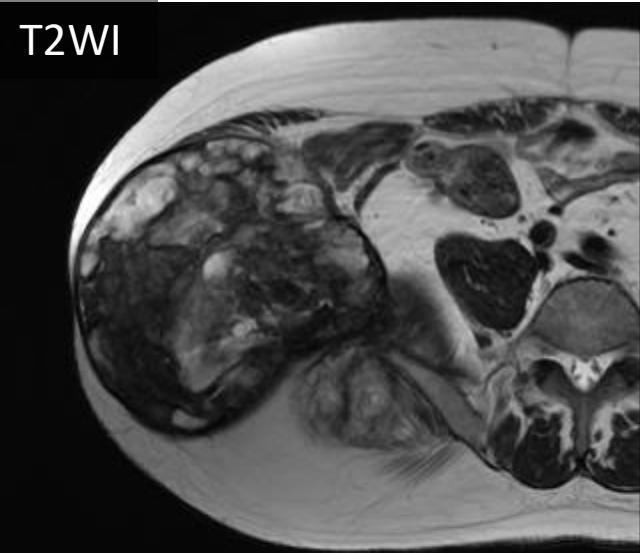
後期相³(90秒後)



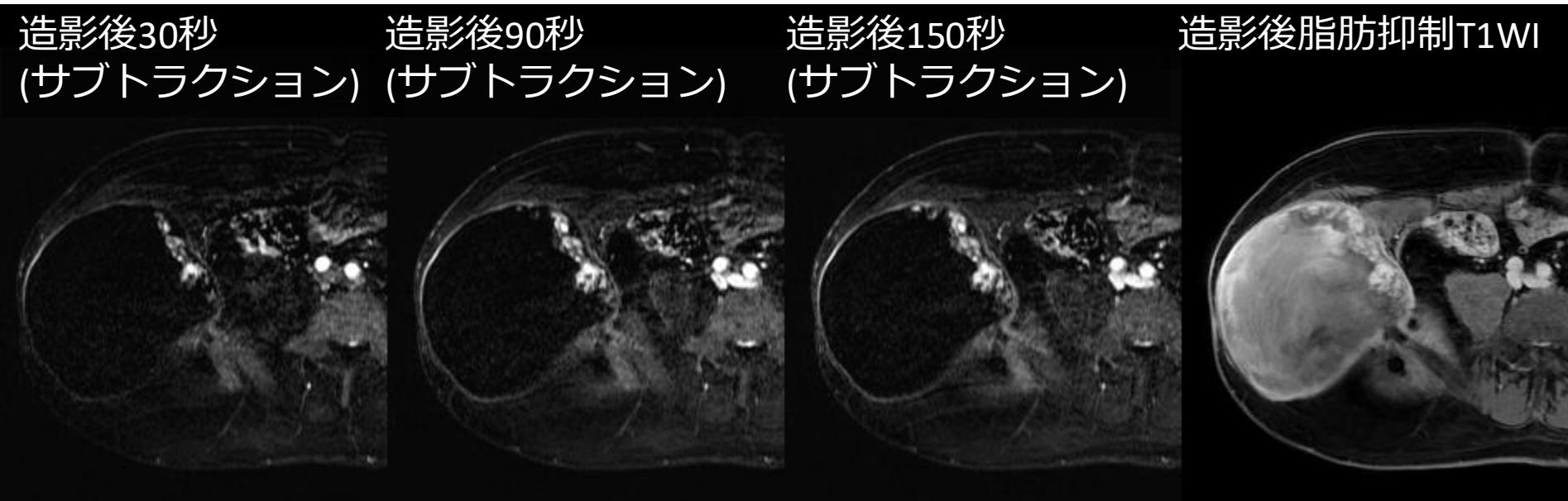
平衡相³(180秒後)



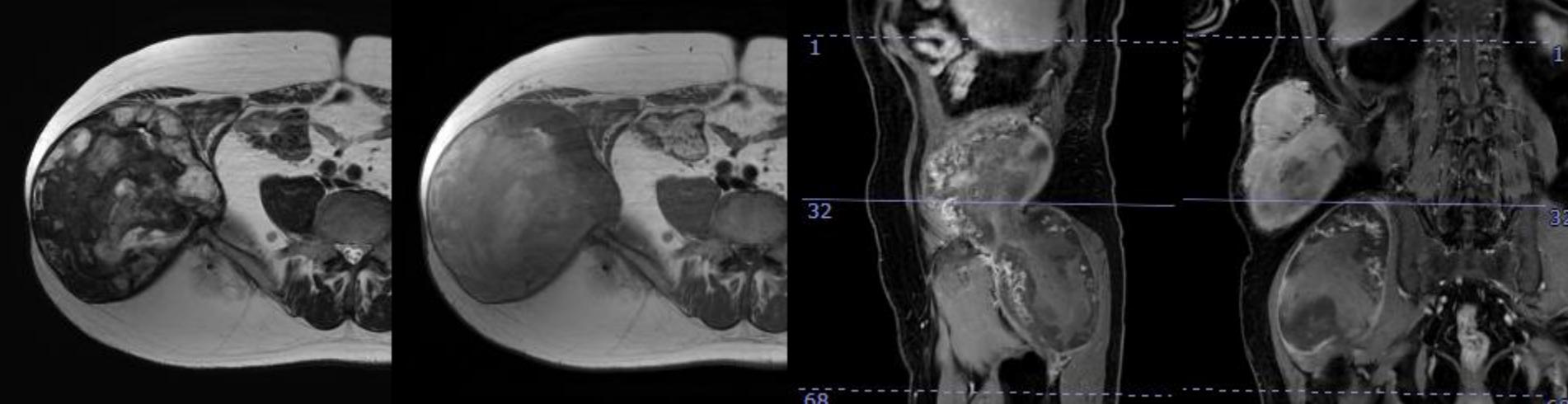
• 造影dynamic MRI



• 造影dynamic MRI



T2WI (再掲)
T1WI (再掲)
造影後脂肪抑制T1WI
矢状断
造影後脂肪抑制T1WI
冠状断



*